

グラビア	地域を支える人 小田嶋優駿さん・北海道猿払村	1
発掘! 地域の希望のタネ	〈津山榕菴珈琲〉岡山県津山市	5
給食のじかん	〈ぶり大根〉長崎県佐世保市 田中洋子	6
	特集解題●自治体・大学連携と地域の未来	8

焦点	変わる「政党への帰属意識」——自治体議員の第四九回衆院選 前田隆夫	10
----	-----------------------------------	----

特集

## 自治体・大学連携と地域の未来

	次のステージに進む大学と地域の連携 ——農山村での事例を中心に	中塚雅也	16
	「地方の時代」から「地方公立大学の時代」へ ——L Xの担い手としての地方公立大学	杉岡秀紀	24
	Win-Win の関係性を重視する 松本大学の地域連携	住吉廣行	33
	地学一体のコンセプトが拓く地域との関係 ——共愛学園前橋国際大学の人材育成	大森昭生	41
	「公益学」に基づく東北公益文科大学の 「大学まちづくり」の取り組み	浦山恭子	48
	学生として、大学教員として、 建築家として地域に関わる	岸田一輝	55
各県自治研 活動レポート	財政分析を活用した病院労組の取り組み ——岐阜県本部	吉田珠樹	62
書評	カトリーヌ・マルサル 著 『アダム・スミスの夕食を作ったのは誰か?』	菅原敏夫	64
連載	東日本大震災の被災地は今 [最終回] 宮城県名取市 名取市で進む復興と現状の課題	鈴木智弥	65
	自治研センターの機関誌案内		71
	次号予告・編集部から		72

# 自治体・大学連携と地域の未来

二〇〇〇年代はじめ頃から始まっている自治体と大学の連携。知の集積拠点である大学が自治体と連携することで、拓かれていく地域の未来を考えていきます。

### 次のステージに進む大学と地域の連携

この二〇年近い大学と地域の連携を振り返りながら、連携のタイプや発展モデル、エコシステム、そして新しいステージについて考えます。(本誌一六頁)

### 地方公立大学の時代へ

地域と大学の連携を考える時に、地方の公立大学が果たしている役割は大きいのではないのでしょうか。その歴史から、これからの可能性を探ります。(本誌一四頁)

### 長野県松本市 Win-Win の関係性を重視する松本大学の取り組み

二〇〇二年に開学した〈地域立大学〉をうたう松本大学の、地域と大学とが Win-Win の関係になる地域連携のあり方とは。(本誌三三頁)

### 群馬県前橋市など 〈地学一体〉というコンセプトが拓く地域と大学の関係

学園の創立一〇〇周年を記念して、女子短期大学から改組して開学された共愛学園前橋国際大学のコンセプトは連携を越えて〈地学一体〉だといいます。(本誌四一頁)



### 山形県酒田市・鶴岡市 「公益学」に基づく「まちづくり」の取り組み

「公益学」に基づく教育・研究と社会貢献を掲げて、公設民営方式で開学した東北公益大学。地元自治体との密接な関係の中で、民俗芸能の伝承などに取り組んでいます。(本誌四八頁)



### 千葉県館山市 学生時代の関わりから起業へ

学生時代に大学と地域の連携事業に参加したことをきっかけに、館山市で起業をするに至った一級建築士から見た大学と地域連携のあり方考えます。(本誌五五頁)